

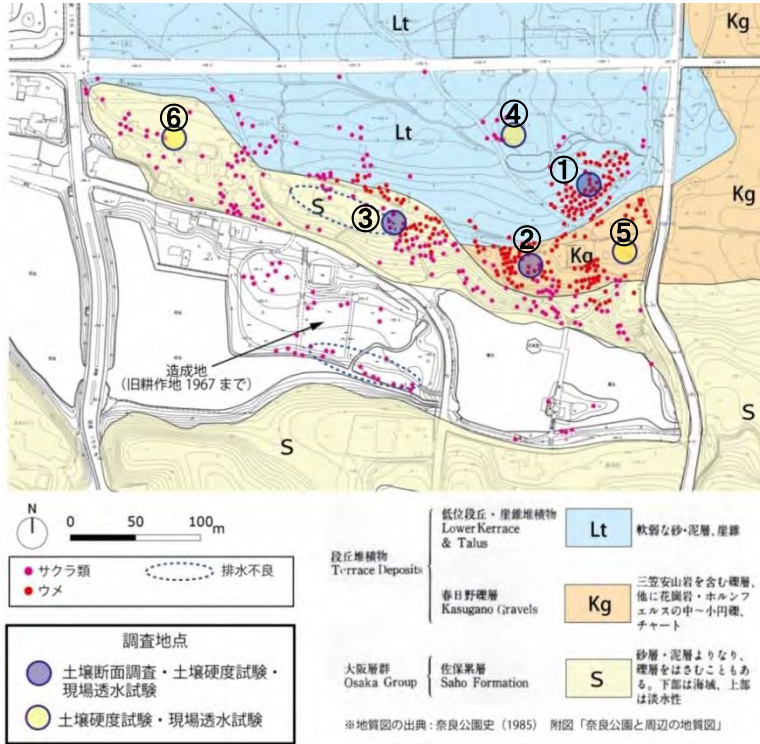
# 1. 土壌調査の結果

浅茅ヶ原・荒池園地植栽計画(案)より抜粋

## 1) 調査地点

## 3) 調査結果

調査日 令和2年1月14日 凡例:◎優、○良、△可、×不良、××極不良  
※土質所見は、瓦礫等混入物及び立会した文化財担当者の意見を参考に判断した。



地点	層位/厚み (cm)	深さ (cm)	土壌断面調査					土壌硬度	現場透水性	室内分析								
			土質所見	根系分布	土壌硬度	現場PH	現場EC			PH	EC	全窒素濃度	有効態リン酸濃度	陽イオン交換容量	置換性石灰			
①	I	14	~14	客土	△	△	◎	××	×	△	◎	△	△	○	○			
	II	14	~28	堆積土	なし	△				△	△	○	△	△				
	III	21	~49	堆積土	なし	△				△	○	△	△	△				
	IV	-	49~	地山	なし	△				△	△~××							
④									0~35	×	×							
									35~75	△								
									75~95	××								
②	I	18	~18	客土	○	△	◎	××	△	×	○	△	△	◎	○	○		
	II	18	~36	客土	△	×				×	△							
	III	18	~54	堆積土	△	△				×	×							
	IV	-	54~	地山	なし	×				×	×							
⑤									0~15	××	△							
									15~30	×								
									30~80	××								
③	I	40	~40	客土	◎	△	○	××	△	×	○	△	○	◎	○	◎		
	II	30	~70	客土?	なし	×				△	△	△	△	◎	○	△		
	III	20	~90	造成土?	なし	×				×	×							
	IV	-	90~	地山	なし	×				×	×							
⑥	凡例								0~20	××	△							
	良好な項目								20~50	×								
	問題ある項目								50~65	××								

## 2) 調査方法

## 4) まとめ

### 1. 土壌断面調査

一定の大きさの穴を掘り土層面を露出させて調べる方法。本調査では、花木の根系の発達状況も合わせて確認した。

### 2. 土壌硬度試験 (長谷川式土壌貫入計試験)

根系の発達に影響する土壌硬度を計測する試験。

### 3. 現場透水試験 (長谷川式簡易現場透水試験)

植栽基盤の通気透水性を現地で計測する試験。

### 4. 室内分析

①で採取した植栽土壌の化学性の分析を行う。分析項目: PH、EC 全窒素濃度、有効態リン酸濃度、陽イオン交換容量、置換性石灰濃度

- ①~③は客土(厚14~40cm)が見られる。ウメの根系はほとんどが客土層にあり、これより深い箇所根系は限られている。
- 現場計測したPHは問題ないが、ECが低く養分不足を示している。
- ①④は、排水不良が顕著で、地形や土質に起因すると考えられる。
- 土壌改善に向けては、埋蔵文化財への影響に配慮して、新たに客土を加える方法を検討する必要がある。また、場所によって客土の厚み等が異なるため、各地点の客土厚み等の確認が必要である。

## ●土壌断面調査

客土の層位

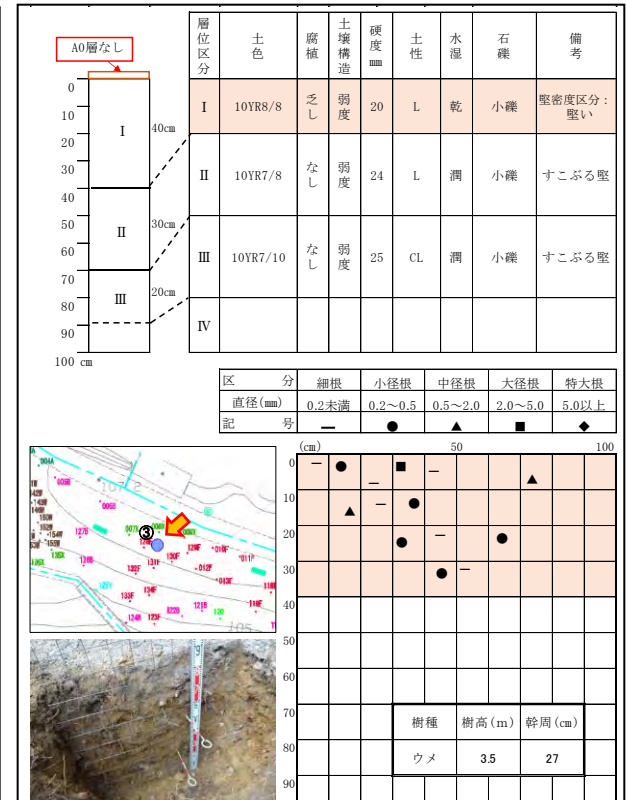
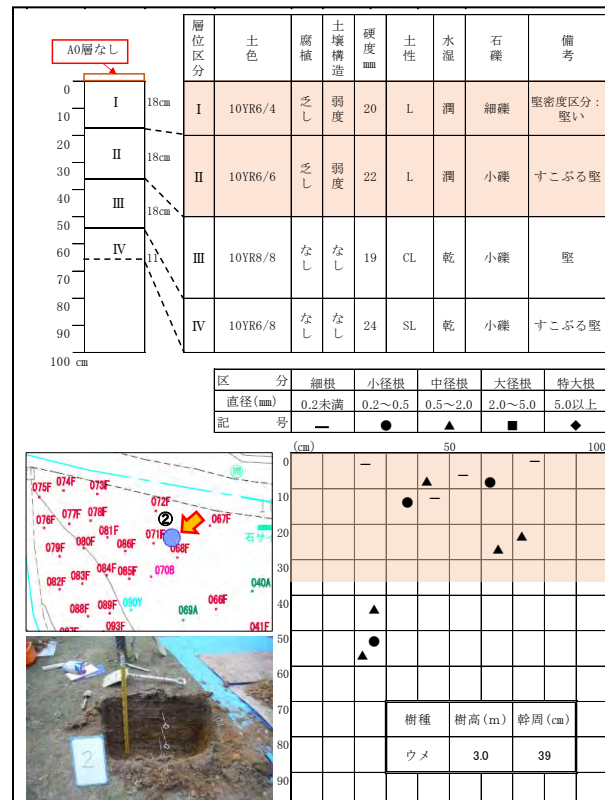
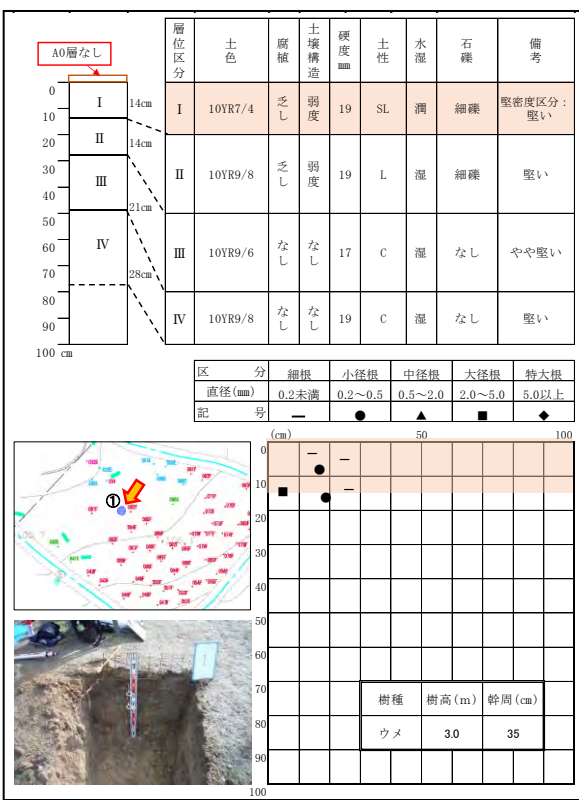
地点①



地点②



地点③



## 日照不足の状況 (2月5日正午頃)



尾根部ウメ: 落葉期にも日陰



尾根部サクラ類: 同上



尾根部フジ: 同上

## 梅林の状況



過密な状況 樹木間隔は2~3m



幹の腐朽



幹の腐朽・断裂

## 旅館群一帯の状況



生長した高木に被われる。



シラカシ:  
強剪定後6年  
幹一部腐朽



ケヤキ:  
強剪定に起因  
する腐朽か?

## 尾根部の排水不良



## ナラノヤエザクラ等の状況



枯枝整理の結果



同上